

米原歴史文化街道

米原市の歴史・文化財を歩く ①61

長比城跡発掘調査速報

― 浅井・朝倉が築いた山城 ―

○国史跡指定を目指して

米原市と岐阜県関ヶ原町にまたがる野瀬山の山上に長比城跡(柏原・長久寺)と須川山砦跡(須川)の二つの城跡があります。長比城は元亀元年(一五七〇)の織田信長の近江侵攻に備えるため、浅井長政によって築城されました。『信長公記』という記録に、「去程に、浅井備前越前衆を呼越し、たけくらへ・かりやす両所に要害を構え候」とあることから、越前朝倉氏の力を借りて、長比城・刈安城(上平寺城)を築城したことが分かります。しかし、守備していた堀秀村・樋口直房が信長軍に内応したことにより、両城はあっけなく開城しました。開城後は信長がこの長比城に一両日留まったことが『信長公記』に記されています。

教育委員会では長比城跡・須川山砦跡の保存と将来的な活用を目的として国史跡指定を目指しており、令和元年度から三カ年計画で調査を進めています。令和元年度は二つの城跡の測量調査を実施し、昨年度(令和二年度)は須川山砦跡の発掘調査を実施しまし

た。須川山砦は文献記録がないことから、麓にある遠藤氏の館とセット関係にある城とする説もありましたが、発掘調査および測量調査の結果、建物の痕跡や土器などの出土がなかったこと、長比城西曲輪(土塁に囲まれた平坦地)と同じ城の造り(縄張構造)であることから、長比城と一連の城である可能性もしくは同時期に築かれた可能性が高いとみられます。

○長比城の構造

今年度は、六月八日から八月一〇日にかけて、長比城跡の発掘調査を実施しました。長比城跡は東曲輪と西曲輪の二つの曲輪で構成され、両曲輪の間には自然地形が残されていることから、近世軍学でいうところの「別城一郭」という形式が採用されています。調査は、両曲輪の築城時期や虎口(入口)構造、門などの建物遺構の有無を確認するために進めています。

調査の結果、建物遺構や土器などの遺物は見つかりませんでした。東曲輪南虎口の虎口内側部分において新



米原市役所YouTubeチャンネルでもご覧いただけます。

に土塁が検出されました。従来は、直進で曲輪に進入する虎口と考えられていましたが、この土塁の存在により、敵はクランクして進入することを余儀なくされ、これまで、考えられてきた虎口よりも発達したものが採用されていることが明らかになりました。また、虎口部分の土塁は自然地形を残しその上に土を盛って築かれていることが分かりました。このことにより、築城前に虎口の位置などの詳細な計画・設計(縄張)がされ、そのあとで土木工事(普請)が行われたことが想定されます。加えて、虎口内の土塁の裾および虎口外側において切岸(人工的な斜面)を検出したことにより、虎口内外の通路幅も確認することができました。今回の調査により、浅井・朝倉氏の築城手法を考えるうえで大きな成果を得ることができたと考えています。

(生涯学習課歴史文化財担当)



▲東曲輪南虎口完掘状況(中央右が土塁)

消費生活相談コーナー

保険金が使えらという住宅修理勧誘に注意!

「ドローンを使って屋根などを点検します。保険で自己負担なく修理ができ、保険金申請も代行します。」などと勧誘されたら?

消費生活相談員より一言

申し込みや契約をする前に、まずご自身で加入している保険会社に確認をしましょう。また、勧誘されてもすぐに修理、契約をしないようにしましょう。

「おかしいな」と思ったら、一人で悩まず、まずは消費生活相談窓口へご相談ください。

市 消費生活相談窓口(本庁舎)
相談専用 ☎53-5110
(受付) 平日 9時30分~16時

米原警察署情報

米原警察署 ☎52-0110

横断歩道は歩行者優先です

運転者には横断歩道手前での減速や停止義務があります。

- 横断歩道の手前で停止できる速度で進行しましょう。
- 横断歩行者等がいるときは、横断歩道の手前で一時停止しましょう。
- 道路標示の「◇」がある地点から前方の横断歩道に気をつけましょう。

- 歩行者は、
- 横断歩道が近くにある時は、必ず横断歩道を利用しましょう。
- 車両の通行直前、直後の横断、斜め横断、横断禁止場所での横断は交通事故の原因となるので、やめましょう。



令和3年市内交通事故数(9月末時点)

件数 36件(-28件) 死者 2人(+1人)
傷者 41人(-40人) ※()内は前年比